

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ウィズ発達支援センター 放課後等デイサービス		
○保護者評価実施期間	令和6年11月22日		～ 令和6年12月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	35	(回答者数) 24
○従業者評価実施期間	令和6年 12月 18日		～ 令和7年1月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・法人理念を念頭に置きながら、「大人になったらはたらこう」を常に意識して取り組みと活動をしています。	・それぞれの成長段階に合わせ、挨拶や整容、コミュニケーションスキルや自己選択等、また、活動においてはその場でのルールやマナー等を守ることが出来るよう、将来それぞれが働く為に必要なスキルを意識した取り組みと活動を実施しています。	・学校の個別の教育支援計画や相談支援専門員の利用計画を基に個別支援計画を作成し、支援を行っています。職員一人ひとりが計画内容を意識しながら支援できるよう継続した共有を実施していきます。
2	・室内活動だけでなく、屋外活動を多く取り入れています。	・昼食購入やおやつ購入、外食等では個々の段階に応じて金銭の支払いや購入、選択方法を学んだり、地域のイベントや季節を感じる事が出来るような屋外活動(海や川、農園活動等)を実施しています。	・活動場所や活動内容を決める際に、事前に利用者の意見を取り入れたり、活動内容を自己選択できるようにしながら活動の充実を図ります。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・利用者の定員に対して施設が手狭と感じます。	・現在使用している場所は狭く、定員の10人に対して活動する内容によっては危険と感じることもあります。	・外での活動を増やすことや、法人内の他の部屋を利用するなどして工夫をしています。今後新築計画もある為、その間は活動場所や活動内容の工夫などを行いながら活動していきます。
2	・放課後児童クラブや児童館との形としての交流については現在機会はありません(地域のイベントや屋外活動でその場で一緒に活動をする機会があります)。	・地域校利用の方については児童館併用の方もいる中、どのようなタイミングで交流すべきなのか、また普段の機会以外での交流の必要性については難しいと感じています。	・自立支援協議会でも今回、児童館・プラザと事業所が懇談をする機会がありました。今後継続し相互理解を深める中で必要性について検討していきたいと考えています。
3			